

経済データで見る「最近の世界経済動向(2013年5月~7月)」

* 青字は悪化指数、%は前年比 2013.7.20現在 日本機械輸出組合

	2013年5月	2013年6月	2013年7月	最近の経済動向
世界	-G7:財政金融政策を為替目的としない、中期的財政健全化 -ドバイ原油 7 日 102.60 ドル -13年:GDP:米 1.9%、日 1.6%、 欧 0.6%減 、中国 7.8% -若年層失業率:13年:世界 12.6%日 8%米 16% 欧 22.6%	-G8:世界経済強化のための行動、TPP、米欧 FTA 完結 -13年:GDP(世銀):世界 2.2%、日 1.4%、米 2.0%、 ユーロ 0.6%減 、中国 7.7%、印 5.7%、ブラジル 2.9% -世界人口 13 年 72 億人 印 28 年 14.5 億人 -21 日ドバイ原油 102.8 ドル、5 月:世界半導体売上:1.3%増	-13年:GDP(IMF):世界 3.1%、日 2%、米 1.7%、 ユーロ 0.6%減 、独 0.3%、英 0.9%、中国 7.8%、印 5.6%、ASEAN 5.6% -G20:景気回復脆弱、緩和混乱抑制 -16 日ドバイ原油 104.50 ドル	・欧州経済は信用不安の沈静化も低迷。米経済は消費堅調で拡大基調。中国経済は減速も成長維持。フィリピン、インドネシア、ベトナム、マレーシア、インドは 3~7%成長。タイは減速気味。シンガポール二桁。日本経済は回復の兆し。
日本	-GDP:12 年度:1.2%増 -財政・金融:4 月末マネタリーベース 155 兆円 26%増過去最 -株価:1 日 13,810、28 日 15,627、30 日 13,589 -物価:4 月:消費者 0.4%減 TV、ガソリン下げ -雇用:4 月:失業率 4.1%横這い -所得:4 月:勤労者収入 2.9%増 -消費:4 月:消費支出 1.5%増、小売業販売 0.1%減、新車販売 1.5%増 8 ヶ月ぶり+、住宅着工 5.8%増 -受注:4 月:機械 4.3%減、工作機 23.6%減、産機 3.3%減 -貿易:22 日一時 1 ドル 103 円台、1 ユーロ 132 円、4 月:輸出 3.8%増、輸入 9.5%増、貿易赤字最大、 -生産:4 月:鉱工業 2.3%減、前月比 0.9%増 -収益:3 月期:経常益:上場企業 5%増、純益:三菱商 20%減、三井物 29%減、住友 7%減、伊藤忠 7%減、丸紅 20%減、ダイキン 6%増 435 億円、日立 49.5%減 1,753 億円、ファナック 13%減 1,204 億円営業益:トヨタ 3.7 倍 1.3 兆円、ホンダ 2.4 倍 5,448 億円、日産 5%減、スズキ 21%増 1445 億円、東芝 4%減 1943 億円、最終益:ソニー 2,300 億円、オリンパス 80 億円、最終損:パナソニック 7542 億円、シャープ 5000 億円、ルネサス 1675 億円、ローム 524 億円、パイオニア 195 億円、	-GDP:5 月:前月比 0.2%増 -財政・金融:量的質的緩和継続、骨太方針:持続可能な財政と社会保障構築 -景気:4-6 月:大企業景況感 5.9、4.9 ポ上昇 -株価:4 日 13,533、7 日 12,445、28 日 13,677 -雇用:5 月:失業率 4.1%横這い -所得:5 月:勤労者世帯収入 1.5%増 -消費:5 月:消費支出 1.6%減、小売業販売 0.8%増、新車販売 6.9%減、住宅着工 14.5%増 -受注:5 月:機械受注 18.1%増、前月比 12%増、産業機械 14.1%増 6 ヶ月ぶり+、工作機械 7.4%減連続 13 ヶ月一、半導体製造装置 BBratio 1.17 -貿易:13 日 1 ドル 94.21 円、1 ユーロ 125.73 円、5 月:輸出 10.1%増、輸入 10.1%増、貿易赤字過去最大 -生産:5 月:鉱工業 前月比 2.0%増、自動車生産 6.6%減、建設機械出荷 9.5%減、 -投資:東芝 300 億円、ジャパントイースプレー 500 億円投資、エルピーダ 100 億円投資、機械受注民需:4 月 10.5%減、前月比 12.4%減、5 月:16.5%増、前月比 12%増	-景気:6 月:大企業製造業景況感+4 -株価:1 日 13,852、18 日 14,808 -所得:6 月:夏ボーナス 1.6%増 -消費:6 月:新車販売 10.8%減 -受注:6 月:工作機械 12.4%減 14 ヶ月連続一、1-6 月:工作機械受注 18.7%減	(前々月)・GDP1-3 月は 4.1%増と回復傾向。失業率横這い。車販売再びマイナスで住宅回復傾向も個人消費回復力弱い。輸出は円高是正で回復傾向。受注、生産、投資は底打ちの兆し。経常益前 3 月期上場企業 5%増、自動車回復、家電、半導体、通信機器は不振。株価は外国勢の売りで 4 月の水準に大幅下落後やや回復。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP1-3 月は 4.1%増と回復傾向。失業率横這い。個人所得やや回復、住宅投資堅調も車販売二桁減で個人消費マイナスで回復力弱い。輸出は円高是正で二桁増に回復。受注、生産、投資は回復の兆し。経常益前 3 月期上場企業 5%増、自動車回復、家電、半導体、通信機器は不振。株価は外国勢の売りで大幅下落後回復基調。景気回復、雇用拡大、財政赤字の縮小が課題。貿易収支の赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-アジア地域:9 日・RCEP 初会合 -株価:上海 1 日 2,173、30 日 2,318 -中国:4 月:輸出 14.7%増、入 16.8%増、小売売上 12.8%増、車販売 13.4%増、工業生産 9.3%増、対中直接投資 0.4%増、製造業景況感 50.5、1.1 ポ減、 -韓国:9 日:政策金利 0.25%下げ年 2.5%、4 月:輸出 0.4%増 営業日 1 日多 -台湾:4 月:輸出 1.9%減、鉱工業生産 12%減 1-3 月:純益:ホンハイ 10%減、エイサー 56%増、アスタ 13%減、 -東南アジア:3 月:新車販売 21%増、4 月:19%増 -フィリピン:1-3 月:GDP 7.8%、新車販売 23%増 -ベトナム:スマホ大国、3 月:新車販売 8%減、1-3 月:GDP 4.9 -インドネシア:14 日 金利 5.75%据置 3 月:車販売 9%増、輸出 10%減 1-3 月:GDP 6%、4 月:新車販売 17%増、 -シンガポール:3 月:新車販売 35%減 -タイ:利下げ 2.5%、3 月:車販売 42%増、4 月:車生産 17%増 -マレーシア:3 月:車販売 8%増、1-3 月:GDP 4.1% -インド:3 日:政策金利 0.25%下げ 7.25%、4 月:新車販売 6%減、鉱工業生産 2%増、12 年度:貿易赤字 1909 億ドル	-株価:上海 3 日 2,306、25 日 1,888、28 日 1,965 -中国:21 日 人民銀行翌日物金利 13%へ、スパコン世界最速、省エネ家電補助打ち、5 月:輸出 1%増、水増し是正、輸入 0.3%減、工業生産 9.2%増、車販売 9.8%増、製造業景況感 49.2、0.4 ポ低下、1-5 月:対中投資 1%増 -韓国:13 日金利据置、5 月:輸出 3.2%増、輸入 4.8%減 -台湾:5 月:輸出 0.9%増、鉱工業生産 0.07%減、 -東南アジア:5 月:新車販売 1%減 1 年 4 ヶ月ぶり一 -フィリピン:13 日政策金利据置 3.5%、4 月:新車販売 22%増、5 月:消費者物価 2.6%増 -ベトナム:法人税 25%→22%へ、4 月:新車販売 26%増 -インドネシア:5 月:新車販売 4%増、消費者物価 5.5%増 -シンガポール:4 月:新車販売 16%減 -タイ:4 月:新車販売 25%増、5 月:新車販売 4%減、車生産 11%増、消費者物価 2.3%増、 -マレーシア:4 月:新車販売 10%増 -豪:1-3 月:GDP:2.5%、5 月:車販売 0.7%増 -インド:17 日:政策金利据置 7.25%、5 月:新車販売 9%減、鉱工業生産 1.6%減、5 ヶ月ぶり一、卸売物価 4.7%増	-株価:上海 8 日 1,963、18 日 2,034 -中国:2 日中国企業社債発行延期、4-6 月:GDP 7.5%増、1-6 月:対中直接投資 4.9%増、6 月:輸出 3.1%減、輸入 0.7%減、新車販売 11.2%増、固定資産投資 20.1%増、工業生産 8.9%増、小売売上 13.3%、製造業景況感 48.3、0.9 ポ低下 -韓国:6 月:輸出 0.9%減、輸入 1.8%減、4-6 月:サムスン営業益 47%増 8,200 億円、13 年:GDP 2.8%上方修正 -台湾:6 月:輸出 8.6%増、輸入 6.8%増 -フィリピン:5 月:消費者物価 2.8%増 -ベトナム:6 月:新車販売 48%増、消費者物価 6.7%増、1-6 月:GDP 4.9%増: -インドネシア:11 日 0.5%引上げ年 6.5%へ、6 月:消費者物価 5.9%増 -シンガポール:4-6 月:GDP 15.2%増 -タイ:6 月:消費者物価 2.3%増 -インド:6 月:新車販売 7%減、25 万台	(前々月)・中国は 1-3 月 GDP 7.7%、投資・消費高水準維持、輸出伸び率大幅減少、大規模製造業好業績、株価低迷。韓国、輸出、投資底打ち傾向、消費で成長維持、企業好業績。台湾、輸出底打ち、生産落込み、企業業績暗。フィリピン 7%台、インドネシア、ベトナム、マレーシア、4~6%成長。タイ鈍化、シンガポール回復兆し。インド、4%台成長に戻す、車販売、輸出マイナス、生産回復の兆し、物価再び上昇傾向 (前・今月)・中国は 4-6 月 GDP 7.5%とやや減速も投資・消費高水準維持、輸出伸び率マイナスへ、製造業景況感もマイナス、株価低迷。韓国、輸出再び停滞。消費で成長維持、主要企業好業績。台湾、輸出は大幅プラスへ、生産停滞、企業業績暗。フィリピン 7%台、インドネシア、ベトナム、マレーシア、4~6%成長。タイ鈍化、シンガポールは二ケタ台回復。インド、4%台成長も消費、生産はマイナス、物価再び上昇傾向

北米	<p>-景気:4月:製造業景況感 50.1、0.6 ㇰ低下</p> <p>-財政・金融:FRB:当面量的緩和継続、今夏見極め、財政赤字 09 年度 1.4 兆ドル→13 年度 0.7 兆ドルに半減</p> <p>-株価:NY ダウ 1 日 14,700、12 日 15,496 過去最高値、31 日 15,115</p> <p>-雇用:4月:失業率 7.5%、0.1 ㇰ低下</p> <p>-消費:4月:個人消費前月比 0.2%減、小売売上 3.7%増、前月比 0.1%増、新車販売 8.5%増、消費者物価 1.1%増、住宅着工 13.1%増、中古 9.7%増、新築 29%増、価格 12.1%増</p> <p>-生産:4月:鉱工業前月比 0.5%減、設備稼働率 77.8%前月比 0.5 ㇰ低下</p> <p>-貿易:4月:輸出 0.7%増、輸入 2.3%減、赤字 586 億^{ドル}</p> <p>-投資:4月:設備稼働率 77.8%0.5 ㇰ低下</p> <p>-収益:1-3月:純益: 主要 500 社 3%増、フォード 15%増 16 億^{ドル}、GM14%減、TI 37%増 3.6 億^{ドル}、アルコム 16%減、フェイスブック 7%増、2-4月:純益:シスコ 14%増、HP32%減、デル 80%減、</p>	<p>-景気:FRB:6 日緩やかに拡大、20 日経済改善続けば年内にも証券購入縮小、5月:製造業景況感 49.0、前月比 1.7 ㇰ低下、非製造業景況感 53.7%0.6 ㇰ上昇、4-6月:CEO 景況感 84.3 3.3 ㇰ増加</p> <p>-株価:NY ダウ:18 日 15,318、24 日 14,659、28 日 14,909</p> <p>-雇用:5月:失業率 7.6%、0.1 ㇰ上昇</p> <p>-消費:5月:個人消費前月比 0.3%増、新車販売 8.2%増、消費者物価前月比 0.1 ㇰ増、住宅販売前月比 2.1%増、住宅着工 28.6%増、前月比 6.8%増、</p> <p>-生産:5月:鉱工業 前月比横這い</p> <p>-貿易:5月:輸出 0.1%増、輸入 0.1%増、赤字 634 億^{ドル}</p> <p>-投資:5月:設備稼働率 77.7%0.1 ㇰ低下</p>	<p>-GDP:13 年 2%へ</p> <p>-景気:18 日 FRB:全般に緩やかに拡大、6月:製造業景況感 50.9、1.9 ㇰ上昇</p> <p>-財政・金融:4 日 FRB:将来にわたって緩和的金融政策必要、17 日銀行融資の伸び続く、18 日緩和縮小は景気次第</p> <p>-株価:NY ダウ:2 日 14,932、19 日 15,573、</p> <p>-雇用:6月:失業率 7.6%、横這い</p> <p>-消費:6月:小売売上高 5.7%増、前月比 0.4%増、新車販売 9.2%増、住宅着工 10.4%増、前月比 9.9%減、消費者物価前月比 0.5%増</p> <p>-生産:6月:鉱工業 前月比 0.3%増</p> <p>-収益:4-6月:純益: 主要 500 社 3%増、GE1%増 3,140 億円、IBM17%減 3,180 億円、インテル 29%減、</p> <p>-投資:6月:設備稼働率 77.8%0.1 ㇰ増</p>	<p>(前々月)・GDPは 1-3 月 1.8%増と回復傾向。失業率高水準もやや回復。住宅好調・車回復傾向、個人消費は堅調。輸出やや回復、生産やや停滞。投資は回復傾向。企業収益 1-3 月 3%増とプラス維持、企業により斑模様。株価は金融緩和観測で下落も堅調な経済で回復。景気回復の持続、雇用拡大が課題。金融政策の影響が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDPは 1-3 月 1.8%増と回復傾向。失業率高水準横這い。住宅好調・車回復基調、個人消費は堅調。輸出やや回復、生産増加の兆し。投資は足踏み。企業収益 1-3 月 3%増とプラス維持、企業により斑模様。株価は金融緩和縮小観測で下落も再び最高値へ。景気回復の持続、雇用拡大が課題。金融政策の影響が懸念材料。</p>
欧州	<p>-財政・金融・政策:1 日・伊大連立内閣発足、3日・欧州中銀政策金利 0.25%下げ年 0.5%</p> <p>-株価:英 FTSE1 日 6,451、22 日 6,840、31 日 6,583</p> <p>-雇用:4月:失業率ユーロ 12.0%、独 5.4%、仏 10.4%、伊 12.0%、蘭 6.5%、スペイン 26.8%、ポーラ 10.7%</p> <p>-消費:4月:小売売上高:ユーロ 1.0%減、独 0.3%増、仏 1.3%増、英 0.2%減、スペイン 6.6%減、ポーラ 2.7%増、新車販売:欧州 1.8%増 16 ヶ月ぶり+、営業日 2 日多い、独 3.8%増、仏 5.3%減、英 14.8%増、蘭 26.0%減、スペイン 10.8%増、ポーラ 1.0%増</p> <p>-貿易:4月:輸出ユーロ 9%増、輸入 1%増</p> <p>-生産:4月:鉱工業:ユーロ 0.6%減、独 1.2%増、仏 0.3%減、英 2.6%減、伊 4.7%減、蘭 1.6%増、スペイン 1.5%減、ポーラ 0.9%減</p> <p>-収益:1-3月:純益:欧州企業 13%減 2 四半期連続-、営業益:エレクトロラックス 96%減</p>	<p>-財政・金融政策:6 日欧州中銀政策金利据置(0.5%)、14 年からユーロ圏への直接資本注入最大 7.7 兆円へ</p> <p>-株価:英 FTSE4 日 6,558、24 日 6,029、28 日 6,215</p> <p>-雇用:5月:失業率 ユーロ 12.1%、独 5.3%、仏 10.4%、伊 12.2%、蘭 6.6%、スペイン 26.9%、ポーラ 10.7%</p> <p>-消費:5月:小売売上高:ユーロ 0.1%減、独 1.2%増、仏 0.3%減、英 2.7%増、スペイン 6.3%減、ポーラ 2.9%増、新車販売:欧州 5.7%減、独 9.9%減、仏 10.4%減、英 11.0%増、伊 8.0%減、蘭 37.0%減、スペイン 2.6%減、ポーラ 5.8%減</p> <p>-貿易:5月:輸出ユーロ 0.1%減、輸入 5.7%減</p> <p>-生産:5月:鉱工業:ユーロ 1.3%減、独 0.8%減、仏 0.4%増、英 2.2%減、伊 4.2%減、蘭 1.9%増、スペイン 1.3%減、ポーラ 1.5%減</p>	<p>-財政・金融政策:4 日欧州中銀政策金利据置(0.5%)、若者失業対策に 1 兆円(14 年から)</p> <p>-株価:英 FTSE3 日 6,229、15 日 6,586、17 日 6,571</p> <p>-消費:6月:新車販売:ユーロ 5.5%減、独 4.7%減、仏 8.4%減、英 13.4%増、伊 5.5%減、蘭 53.6%減、スペイン 0.7%減、ポーラ 8.0%増、消費者物価:ユーロ 1.6%増</p> <p>-収益:4-6月:営業益:タイムラー 2.3 倍 6,760 億円(EADS 株売却で 5 千億円)</p>	<p>(前々月)・GDP 1-3 月 1.1%減と 6 期連続でマイナス。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く、独、仏、蘭落ち込み、英のみ好調。輸出は回復傾向。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績 1-3 月は二期連続、大幅減益、自動車もマイナス、株価はやや下げ傾向。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP 1-3 月 1.1%減と 6 期連続でマイナス。過去最悪の失業率、仏、蘭等を中心とした自動車販売の長期落ち込みで、英独等を除き消費は長期低迷。輸出も再びマイナスで生産も低迷続く。投資も停滞。企業業績 1-3 月は二期連続で大幅減益。一部自動車は好業績。株価は下落後、若干持ち直し傾向。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-中東:インフラ開発盛ん・サウジアラビア住宅投資、カタール地下鉄開発、千代田、カタール石化プラント 600 億円</p> <p>-トルコ:1 日:韓国との FTA 発効、16 日政策金利 0.5%引下げ 4.5%へ、伊藤忠、欧韓と製油所受注 3,500 億円、1-3 月: 輸出 5%増、輸入 5%増、貿易赤字 5.1%増 216.8 億^{ドル}、</p> <p>-ナイジェリア:1-3 月:GDP6.6%</p>	<p>-エジプト:大統領退陣デモ</p> <p>-イラン:保守穏健派ロウハニ大統領選出</p>	<p>-エジプト:4 日クーデター、10 日暫定政府樹立、12/7-13/3:国際収支 20.9 億^{ドル}、赤字</p> <p>-カーナ:12 年 GDP7.9%</p> <p>-ケニア:12 年 GDP4.6%</p>	<p>・エジプト、シリアで政情不安定。リビア、アルジェリア安定化傾向。サウジアラビア、イラク、UAEは安定成長、電力、水等インフラ開発、石化プロジェクトに需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:29 日政策金利 0.5%引上げ年 8%へ、TEC、洋上原油設備受注 300 億円、4 月:消費者物価 6.5%、レアル安</p> <p>-メキシコ:1-4 月:自動車生産 5%増、4 月:自動車販売 19.5%増 8.4 万台</p>	<p>-ブラジル:21 日汚職、物価高でデモ、5月:新車販売 10%増 31.6 万台、13 年:GDP 2.7%増</p> <p>-メキシコ:5 月:自動車販売 9.0%増 8.8 万台</p>	<p>-ブラジル:10 日政策金利 0.5%引上げ年 8.5%へ、6 月末:消費者物価 6.7%、1-6 月:自動車販売 4.8%増、13 年:GDP:2.7%</p>	<p>・ブラジル経済は車販売好調も物価上昇で金融引締めへ。1%台成長。メキシコ経済は自動車生産・販売回復も成長鈍化傾向。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:4 月:新車販売 8%減 24.5 万台 2 ヶ月連続前年下回る</p> <p>-中・東欧:緊縮策を堅持</p>	<p>-ロシア:5 月:新車販売 12%減 23 万台 3 ヶ月連続前年下回る</p>	<p>-ロシア:6 月:新車販売 11%減 24.1 万台 4 ヶ月連続前年下回る</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まりも輸出マイナス、車販売二桁落ち込み等で、消費、投資に陰り、1%台成長。持続的回復が課題。</p>